

国際化学肥料ニュース（2012年5月）

肥料業界の2012年5月動態

- * アメリカ農業省は5月10日に公開された「世界農業需給予測」報告に世界食糧価格の上昇傾向を受け、農家の作物栽培意欲が高まり、2012～2013年アメリカのトウモロコシ栽培面積が約186万ヘクタール増加し、収穫量が5.37億トンに達し、輸出量も7250万トンになると予測する。
一方、大豆の収穫量1.16億トン、輸出量5460万トンと予測する。

- * アメリカ肥料研究所（The Fertilizer Institute）が発表した数値によれば、4月アメリカのりん酸系肥料の販売が非常に好調であった。4月DAP生産量53万トン、在庫31.1万トン、販売量66.1万トン。MAP生産量39万トン、在庫39.5万トン、販売量47万トン。りん酸系肥料の総生産量92万トン、在庫70.5万トン、販売量113.2万トン。

- * 5月4日、インドの100万トン尿素輸入入札日程を公表した。同時にインド政府はイラン産尿素が入札条件に合わないと発表し、実質に安いイラン尿素の応札を排除した。また、パキスタンも5月21日に30万トン尿素輸入入札を公表した。これにより、尿素の価格がFOB500ドル/トン周辺で維持される見通しになった。

- * ブラジル国営石油(Petrobras)はヴァーレ社との間に加里肥料、窒素肥料分野で技術と資金の協力意向書を締結した。今年2月、ブラジル国営石油がヴァーレ社にTaquari-Vassouras 加里鉱山及び Carnalita 加里鉱山の賃貸契約を30年延長した。Taquari-Vassouras 加里鉱山はブラジル国内唯一の現役加里鉱山で、毎年国内塩化加里需要量の約10%にあたる80万トン塩化加里を産出した。ヴァーレは1992年にブラジル国営石油から当該鉱山を借り、経営権を握った。また、Carnalita 加里鉱山もヴァーレがブラジル国営石油から借り、主導で開発が進み、2015年から生産開始、年間生産量120万トン塩化加里、2017年から160万トン塩化加里に増強する計画。

- * インドの加里肥料需要量が500～600万トン/年、国内供給できる量が5%未満で、ほとんど輸入に依存する。インド政府は加里肥料の供給ルートを確保するために、2011年8月からベラルーシ国営加里（Belaruskali）の20～25%株式を購入・所有する行動に出たが、失敗した。現在、インド企業がカナダ加里大手会社の10%株式を購入する計画を後押しする。4月、インド政府関係者と肥料業界関係者の代表団がカナダを訪問し、加里会社のKarnalyte, Weater, Allana, Encanto 諸社と会談をした。現在、インド加里(IPL)とAllana社、インドGujarat肥料もKarnalyte社との間に株式の譲渡に関する協議を続けている。

- * 5月20日、インド STC 社は5月4日入札した尿素の応札結果を公表した後、尿素の国際価格が急落した。特にウクライナ産尿素の FOB 黒海 Uzhny 港の価格が30~40ドル/トンも下がった。5月21日へのパキスタンとスリランカの尿素入札については、パキスタンは尿素価格の下落を見込んで、応札あっても成約しない姿勢を取っているようである。3月からの尿素価格高騰の市況を受け、各尿素輸出国が生産を強化している。また、カタールの Qafco 第5本尿素生産ラインが6月からフル生産に入り、第6本生産ラインも2012年から生産開始、サウジアラビア Safco の第4本尿素生産ラインが6月完成する予定。一方、中国の10kg以下包装の尿素はすでに港に大量集積し、7月からの非需要期に合わせて輸出準備している状況から、6月以降も尿素の国際市場価格が下落し続けると業界関係者が見ている。

他方、インド政府は尿素の国内販売価格を約10%値上げさせ、政府の補助金を削減する計画。これにより、インドの尿素需要量が減り、輸入量も減少するのではないかと尿素メーカー、貿易商社が見ている。

- * 今年に入って、アフリカに加里鉱山を発見するニュースが相次いでいる。オーストラリア South Boulder 社はアフリカ東部エリトリアの Colluli 地域にもう1ヶ所の加里鉱脈を発見した。当該加里鉱脈は地下深さ54~100mにあり、鉱石の塩化加里含有量18%、埋蔵量約10.8億トン、露天採掘に適していると発表した。エリトリア Colluli 地域の加里採掘プロジェクトは South Boulder 社が90%、エリトリア政府が10%の株式を持っている。

カナダ Allana 社はアフリカエチオピアの Danakhil 加里鉱山を調査した結果、新たな鉱脈を発見し、採掘可能量2.5億トン、予測埋蔵量が13億トン、平均塩化加里含有量19.32%と発表した。

アフリカコンゴの Lasociete Sintoukola Potash SA 社はコンゴ南部の Bouenza 県 Madingou 近辺に巨大な加里鉱脈を確認した。該社は当該地域に計36本探索井戸を掘った結果、8.04億トンの加里鉱石埋蔵量が確認された。該社は今年末から開発申請を行い、2018年にアフリカ最大の加里生産国になる。Lasociete Sintoukola Potash SA 社の最大株主はオーストラリアとカナダに上場している Elemental Minerals 社である。

カナダ International Lithium Corp はアルゼンチン北西部 Salta 州の Mariana 塩湖から高濃度の加里を有する塩水層を発見した。初歩調査結果では、塩水中の加里濃度が9.4~11.3g/l で、採算が取れるため、開発を計画する。

大手各社の営業業績

- * ロシア Acron 社は2011年の営業成績を公表した。肥料販売量480万トン、売上高22.12億ドル、粗利率32%、純利益6.874億ドル。今年第1四半期はアンモニア生産

量 68.85 万トン、化成肥料生産量 73.56 万トン。子会社 **Veliky Novgorod** の新尿素工場が 3 月完成され、尿素生産能力が 47 万トンから 80.5 万トン／年に増加した。

- * ノルウェー **Yara** 社は今年第 1 四半期の生産と販売が順調で、純利益が 4.5% 増の 5.275 億ドルになった。
- * カナダ **Potash Corp** 社は今年第 1 四半期の業績を公表した。塩化加里の販売価格が上昇したものの、販売量が減ったため、粗利 6.98 億ドル、純利益 4.91 億ドル。塩化加里販売量が 120 万トン、工場出荷価格平均 435 ドル／トン。
- * ロシア **Phos Agro** 社は今年第 1 四半期のりん酸肥料生産量 108 万トン、販売量 107 万トン、窒素肥料生産量 21.69 万トン、販売量 24.02 万トン、化成肥料生産量 41.6 万トン、販売量 41.6 万トン。

肥料プラント新規建設

- * アメリカ **Mosaic** 社は環境破壊の理由でフロリダ州のりん鉱山採掘禁止に関する訴訟に和解したと発表した。これに伴い、**Mosaic** 社はりん鉱石の採掘の再開を準備する。当該訴訟は 18 月もかかり、この間にりん鉱山が閉鎖された。
- * 南アフリカ **Foskor** 社は該国の **MDM** 社に **D-Bank** りん鉱石選鉱工場プロジェクトの設計と建設管理を依頼した。**MDM** 社はすでに **Foskor** 社の依頼を受け、別のりん鉱山の設計・建設プロジェクトを 2011 年に完成した。そのプロジェクトは年間りん鉱石採掘量 140 万トン、選鉱後のりん鉱石 20 万トンであった。**Foskor** 社は 2011 年のりん鉱石生産量が 280 万トンであった。
- * インド **Travancore** 肥料と化学品社 (**FACT**) は **Kerala** 州に 4 ヶ所の化学肥料及び原料工場の建設に出資パートナーを募集している。この 4 工場は **Kochi** 市に 2800 トン／日のアンモニアと 3500 トン／日の尿素工場 (投資額 8.72 億ドル)、2000 トン／日の硫酸工場 (投資額 6028 万ドル)、1000 トン／日の **N,P** 化成肥料工場 (投資額 3981 万ドル)、**Udyogamandal** 市に 1500 トン／日の尿素工場 (投資額 1.63 億ドル) である。
- * インド **Zuari** グループは **Uhde** 社をゴア州の化成肥料工場の拡張計画の事業者を選んだ。**Uhde** 社は当該化成肥料工場の機械購買、設計、施工管理、最終調整等を行い、2013 年下半期に完成する予定。現在、当該工場の生産能力が 800 トン／日、インド国内の化成肥料需要旺盛を受け、生産能力を 2 倍以上に拡張する予定。

- * カナダ **Rodinia Lithium** 社はアルゼンチンにあるリチウム／加里プロジェクトの可能性研究と試作工場建設のため、**300** 万ドルの資金を募集する。この会社はアルゼンチンの塩湖からリチウムと塩化加里を同時に回収する研究をしている。当該プロジェクトの塩化加里生産可能量が **1127** 万トンと言われている。
- * カナダ **Hanfeng Evergreen** 社はインドネシア企業と合弁で、カリマンタン島南部にもう **1** ヶ所の化成肥料工場を建設する。この新工場は **25** 万トン化成肥料、**10** 万トン硫黄コーディング尿素肥料、**25** 万トン **BB** 肥料混合設備からなり、投資額 **3000** 万ドル。**2014** 年末完成予定。**Hanfeng Evergreen** 社は **2009** 年からインドネシア企業 **2** 社と合弁で **Surabaya** に緩効性化成肥料と硫黄コーディング尿素工場を建設した。新工場の建設によりインドネシアに年間 **100** 万トン以上の緩効性肥料を供給することができる。
- * ナイジェリア **Notore** 社は日本三菱商事と共同で **Port Harcourt** にある **Onne** 工場に新たにアンモニアと尿素生産ラインを建設する。生産能力はアンモニア **1700** トン／日、尿素 **3000** トン／日、設計は三菱重工業が担当する。工場は **2016** 年完成予定。**Notore** 社は **2005** 年 **8** 月にナイジェリア国営化学肥料社から **Onne** 工場を買収し、アンモニアと尿素生産設備と技術を積極的に導入した結果、**2010** 年 **4** 月からアンモニアと大粒尿素的の生産を開始した。現在年間アンモニア **30** 万トン、大粒尿素 **50** 万トン、化成肥料 **50** 万トンの生産能力があり、**2016** 年新生産ラインが完成する以降、年間 **170** 万トン尿素と **100** 万トン化成肥料を市場に供給することができる。
- * **5** 月 **18** 日、中国内モンゴルに世界最大級のアンモニアと尿素工場の建設を着工した。当該工場は **2** 生産ラインを設け、**1** ラインの生産能力がアンモニア **70** 万トン、尿素 **120** 万トン／年とする。投資額 **105** 億人民元（約 **16.7** 億ドル）、**2014** 年完成予定。
- * ノルウェー **Yara** 社はオーストラリア企業 **2** 社と合弁で、西オーストラリア州 **Pilbara** に硝安工場を建設する。投資額 **8** 億ドル、生産能力 **33** 万トン／年、**2015** 年末に完成予定。
- * バーレン政府が **15** 億ドルを投資し、**2** ヶ所でアンモニアと尿素工場を建設する計画。経営主体は国営の **Gulf Petrochemicals Industries** 社。
- * 南アフリカ **Omnia** 社は **Sasolburg** に建設中の硝酸と硝安工場が完成したと発表した。当該工場の生産能力が硝酸 **30** 万トンと硝安 **30** 万トン／年であり、投資額約 **1.7** 億ドル。

- * カタール Qafco の第 6 本尿素生産ラインが 2012 年末に完成する。生産能力は尿素 140 万トン／年。完成後、該社の尿素生産能力が 560 万トン／年に達し、世界最大の尿素メーカーとなる。
- * 世界第 2 位の火薬メーカー Yno Nobel 社はアメリカルイジアナ州 Waggaman にアンモニア工場を建設する。生産能力 75 万トン／年、2013 年着工、2015 年末完成、投資額 8 億ドル。
- * アフリカエチオピア政府は南部の Oromia 州 Illubabaor に生産能力が 30 万トン／年の尿素工場 5 つと 25 万トン／年の DAP 工場 3 つを建設する計画。総投資額約 31 億ドル、2015 年までに全部完成。
- * ロシア Acron 社の Oleniy Ruchey りん鉱山が 5 月に完成、6～7 月から選鉱後のりん鉱石を産出する。生産能力がりん鉱石（選鉱済み）100 万トン、系列のりん酸肥料工場に供給する。

その他

- * イラン 3 月の尿素輸出量が 26.7 万トン（昨年同期 20.7 万トン）、1～3 月の輸出量が 73.3 万トン、約 62% がインドに輸出した。なお、昨年はインド向けの輸出量が 86% であった。
- * ロシア Uralkali 社は同国の Kamskaya 鉱産を吸収合併する。Kamskaya 鉱産が開発中の Polovodovsky 加里苦土鉱山を所有し、2021 年完成後、年間 1100 万トンの加里苦土鉱石を採掘し、250 万トン塩化加里を生産する予定である。また、Uralkali 社は 7 月に Silvinit-Resurs と CJSC JV Kama の 2 社を吸収合併する予定。
- * ヨルダン APC 社のストライキがすでに 10 日以上が継続している。毎日 6000 トン塩化加里の生産が止まった。
- * ロシア Eurochem はドイツの K+S との間に K+S の窒素肥料販売会社を 1.4 億ユーロで買収することに合意した。現在、EU の反独占審査部門が審査中で、許可されれば、第 2 四半期に成立する。S+K は経営資源を加里と苦土肥料に集中するため、一昨年から BASF の窒素肥料販売代理事業を売却しようとする。昨年 9 月 Eurochem は BASF のベルギーにある窒素肥料工場を買収したことに伴い、S+K との間に本件の事業買収協議を進めてきた。2011 年度 S+K の窒素肥料販売事業の売上高 11.6 億ユーロ、納税前利

益 6940 万ユーロであった。

- * ノルウェーYara は Ethiopotash 社の株式を Seftec 社と XLR 社から 51%まで買い増し、子会社にした。Ethiopotash はエチオピアの Danakil Depression に Dallolni1 という加里鉱山開発プロジェクトを進んで、2013 年着工、2015～2016 年から生産開始、生産能力は 100～150 万トン/年と目論んでいる。

また、Yara は 5 月にカナダ ICP の 19.9%株式を取得し、メキシコにある硫酸加里工場の 30%製品の販売権利を入手した。